

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：川崎子母口雲母保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：代表取締役 村越 秀男	定員（利用人数）：60名
所在地：神奈川県川崎市高津区子母口545番の1	
TEL：044-788-5588	ホームページ： https://www.kirara-hoikuen.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社モード・プランニング・ジャパン	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員 0名
専門職員	看護師 1名 管理栄養士・栄養士 3名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	保育室 6 子どもトイレ 立ち5 便座8
	遊戯室 大人トイレ 4
	更衣室 1 園庭 有(○) 無()
	事務室 1 その他
	調乳室 1

③ 理念・基本方針

発見育む豊かな心

～考える力とは気づき。気づきとは発見～

子どもの頃初めて見るものに 興味や疑問をもち、驚く日々。その初めての気づきを大切にしたいと考えています。気づく事はワクワクする事、それを誰かに伝えることで 自己表現の楽しさを感じてほしい。乳児、幼児の毎日の生活と遊びの中で「触れる・興味を持つ・選ぶ・見る・追及する・・・」等に気が付く事が出来、様々な発見を 日々の連続した生活の中で経験する場であり、色々な角度から考える豊かな発想をもつ子どもに育てたいと思っています。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

1、健康な心と身体を育む

雲母保育園では以下の保育方針を定めて園運営をしております。

「健康な心と身体を育む」

具体的には、子どもの最善の利益を追求し、将来の自己実現へ向けた基礎を培う。家庭及び地域との信頼関係を築きながら、保護者が自ら子育てをする力を発揮できるように支援するという姿勢を全体的な計画に定めています。

保育目標として以下の子ども像を掲げています。

「自らの心と身体の健康を大切にできる子ども」

「まわりの人々の思いに気づき、社会の一員としての生活を目指せる子ども」

「自ら考えたことを表現し、様々な人と親しみをもって関わり合おうとする子ども」

「主体的な意思に基づいて行動し、探究心をもって考えられる子ども」

2、食育

「食との出会いから心身ともに健康で豊かな人を育てる」をスローガンに食育に取り組んでいます。

管理栄養士・栄養士を2名以上配置し、毎月テーマを決めて展開されるサイクルメニューではない園独自献立、毎日園で調理される給食、きめ細やかな離乳食対応などで安心安全だけでなく楽しみになるような給食の提供を行っています。

日々の保育の中でも栽培活動やクッキング保育、「先生」のひとりである管理栄養士・栄養士との関りが子どもたちの食への関心を培う機会となっています。

毎月の給食だよりでの情報提供や、年に2回姉妹園と合同での食の祭典「給食フェア」は子ども達だけでなく保護者の皆さまからも好評いただいています。

3、きらら教室

きらら教室では、パズルやぬりえから言語やさんすうまで、様々なプログラムを通して生活に必要な能力を身につける活動を行います。

言語やさんすうと言ってもむずかしいことを勉強するというものではありません。丸暗記や機械的な学習ではなく、工夫や発見・感じたことを言葉や形にすることで考える力を養います。

保育士とじっくり向き合い、一人ひとりの成長を見守り援助します。楽しみながら集中して考えるため、基礎力・理解力・学習に対する意欲が育ちます。

4、保護者の方々との連携

雲母保育園では園と保護者の方々とのコミュニケーション・信頼関係構築を大切に考えております。毎日お迎えの際に5分間お時間を頂戴し、職員とじっくりお話をさせて頂くことをお願いしています。また年2回以上の個人面談、年3回の保護者会や行事、毎日の連絡ノート・栄養ノートを通し連携を密にとっていきたいと考えております。また、園で行う様々な行事には保護者の方々のご協力が必要です。

5、安全管理

安全計画の策定、定期的な防犯防災訓練の実施、危険箇所をピックアップしたお散歩マップの作成など、日ごろより安全面に関しては細心の注意を払っておりますが、当園では万一の時に備えてセコムセキュリティシステムを導入しております。職員不在時の園内への不審者侵入時や職員による非常ボタンでの要請により、すぐさま警備員が駆けつけるようになっています。

カメラ付インターホンの設置、職員は生体認証での入退出管理を行うなど、徹底した安全対策を実施しており、安心してご利用いただけます。

6、アレルギーへの対応

食物アレルギーに関しては対応マニュアルを整備しており、医師の指示に基づいてアレルギー除去の給食の提供や、アレルギーへの接触に配慮した環境整備を行います。専門知識をもった管理栄養士・栄養士がご相談も承ります。

園内環境としても日頃より清潔を保ちアレルギーの除去につとめております。毎日の清掃はもちろんのこと、おもちゃは毎日洗浄し、消毒を行っています。シックハウスの原因となる化学物質（※）は一切使用しておりませんのでご安心下さい。（※ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン等）

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月1日（契約日） ～ 2023年 12月 15日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	〇回（ 年度）
---------------	--------------------

⑥総評

◇特長や今後期待される点

- ・園での生活が安心・安全に送れるように取り組んでいます

園では、子どもが安心・安全に過ごせるよう、全保育室に標準的な実施方法を掲示しています。災害時の初動を（地震の時は窓を開ける・火災の時は窓を閉める）、イラスト入りで視覚的にわかりやすく表示しています。また、救急対応では、アナフィラキシー・けいれん（ひきつけ）・転んだ時の対処方法などをイラスト入りフロー図にして掲示しており、速やかに対応できるよう努めています。職員は、看護師から定期的実践研修を受けており、窒息時などの応急処置を身につけています。園では、職員全員で安全対策に取り組んでいます。

- ・様々な職種の職員が、協力して質の高い保育を目指し、努めています

川崎子母口雲母保育園には、保育士の他に看護師や管理栄養士・栄養士が、それぞれの専門性を活かして勤務しています。栄養士も看護師も、まずは子どもたちと直に関わることで献立作成の改善や必要な健康教育に繋げ、保育者も食育チームと保健チームに分かれて活動するなど、職員全員で食育や健康教育について考える体制が出来ています。また、違う職種の職員が保育に入り、違う視点から子どもや保育を観ることで気づいたことも大切であると考え、その気づきを投げかけ話し合うことで、保育の質の向上につなげています。

- ・園と保護者で子どもの成長を見守ります

開園して翌年にコロナ禍により、子どもの行事などに制限がありました。園では、コロナ禍のなかでも子どもに様々な体験や経験が積めるよう、職員は工夫して取り組んでおります。保護者アンケートでは、コロナ禍のため保護者が参加できる行事が少ないことに残念な気持ちがありました。現在は、感染症レベルの5類移行に伴い、徐々に保護者参加の行事への取り組みを検討しており、園と保護者とで子どもの成長を見守る関係性が期待されます。

- ・保護者の就労等に寄り添った行事開催が望まれています

開園5年目ということで、コロナ禍にも重なり、行事自体の開催が難しい時期を過ごしてきました。保護者アンケートでは、園に対する総合満足度で、9割以上の方が満足と答えている中、行事日程に関しては、参加しやすいと答える方が少ないという現状があります。行事等を通して、保護者に保育の様子を観ていただけるようにと考えていますが、運動会を土曜日に開催できる場所の確保や、懇談会等の開始時間を遅くする為の職員配置等に困難が生じています。現時点では、園として出来ることを最大限に行っていますが、今後は保護者の意見も参考にしながら、就労している保護者が一人でも多く参加しやすくなるよう、検討し計画する事が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けた事で、職員にとって日々行っている業務が具体化され、職員1人1人が取り組みに対して、高い意識持って出来るようになりました。これからも引き続き、職員が必要以上の業務に追われることなく、子どもたちが心身ともに安定して毎日を過ごす場所としてどうあるべきか常に考え、保護者様と共に協力し、地域に愛される保育園運営をめざしてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり